

世界を見つめ 地域に奉仕する YMCA



(左)国際協力募金のためのチャリティーボウリング大会



(中・右)ライトブルー賞を受けた千葉 YMCA 船橋地域デポ



千葉市少年自然の家の毎秋の公開行事「秋のわいわいフェスティバル」写真は2012年のとき

千葉 YMCA ニュースボード

2020年3月1日 第251号

www.ymcajapan.org/chiba/

千葉市少年自然の家

15年を満了し新たな運営へ

房総半島の中央、長柄町の山地に2005年に開設された千葉市少年自然の家は、千葉 YMCA がプログラム運営を担って15年間歩みを続けてきました。この間千葉市の小学校の5年生が順に宿泊・野外学習に訪れ、動植物など自然に触れ、また農作業を体験しました。

この15年間は千葉市のPFI事業という形態でしたが、今春からの5年間は指定管理という別の契約のもとに、新しい運営・プログラムの研究・開発を進めます。

15年間に培った運営のノウハウを生かして、今後もよりよい活動を続け、千葉市、地元長柄町をはじめ県内の人々のお役に立ちたいと願っています。YMCA 会員の皆様の一層のご理解・ご協力を賜りたく存じます。

◆国際理解・協力を推進

世界各地の YMCA の働きを支援する「国際協力募金」にご協力をよろしくお願ひします。この協力募金に資するチャリティーボウリング大会を1月25日に開催しました。熱戦の末石丸千葉ワイズメンズクラブ会長が優勝、2位は高田常議員、3位は広田総主事でした。

(2月16日にはYMCAも参加するちば市国際ふれあいフェスティバルが予定されていましたが、新型コロナウイルス感染を予防するため、この催しは中止となりました。)

◆船橋地域デポにライトブルー賞

前号で予告のとおり、2月8日の「千葉県青少年育成フォーラム」の席上、善い行いや活動をした青少年(個人・団体)と、育成に功労のあった個人・団体に「ライトブルー賞」が贈られました。千葉 YMCA の船橋地域デポ(通称船橋 YMCA)が、育成功労の部(団体)でこの賞を受けました。2005年から船橋市内の小中学校で継続実施してきた「障がい者理解体験教室」が評価されたものです。ラ

イトブルー賞は小型ながらもずっしりと重いクリスタルの置時計です。6月13日開催予定の千葉 YMCA 定期総会で会員皆様に披露されます。

◆春キャンプ・特別プログラム

準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、すべての春休みプログラムを中止にすることとしました。

◆ユース・リーダーズ・アクトに参加

ワイズメン北東部(北関東・東北)主催の「ユース・リーダーズ・アクト」が2月15、16日栃木で開催されました。とちぎY、盛岡Yの仲間に千葉Yのスタッフ・リーダー計3名が加わり、初日は様々なテーマで討議、翌日は少年ドッジボール大会の運営に奉仕しました。

◆ピンクシャツデー

全国のYMCAと共に、いじめのない社会の実現を願うピンクシャツデーを2月26日に実施しました。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

0475-35-1131

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp